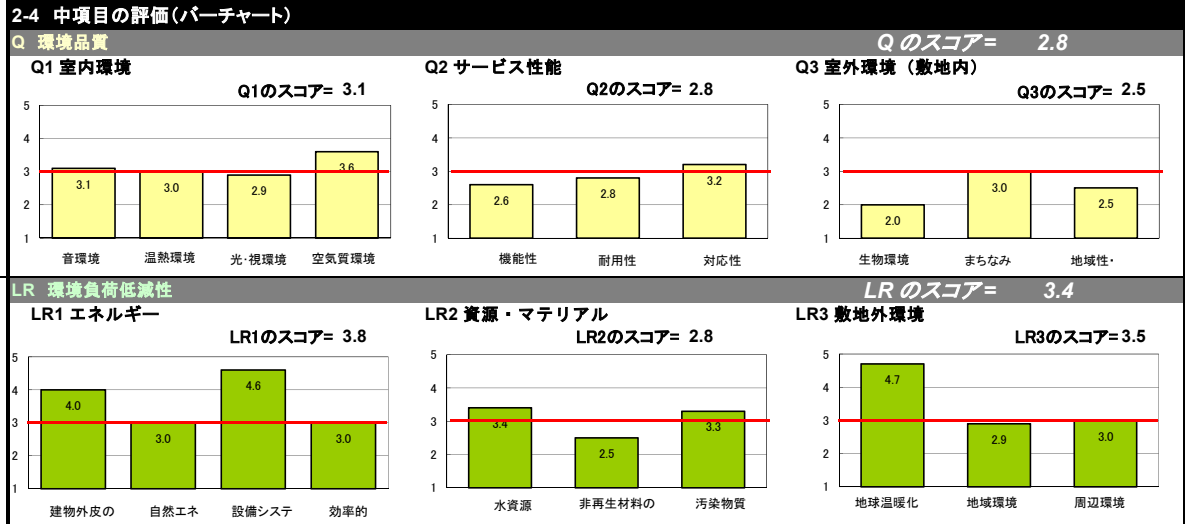
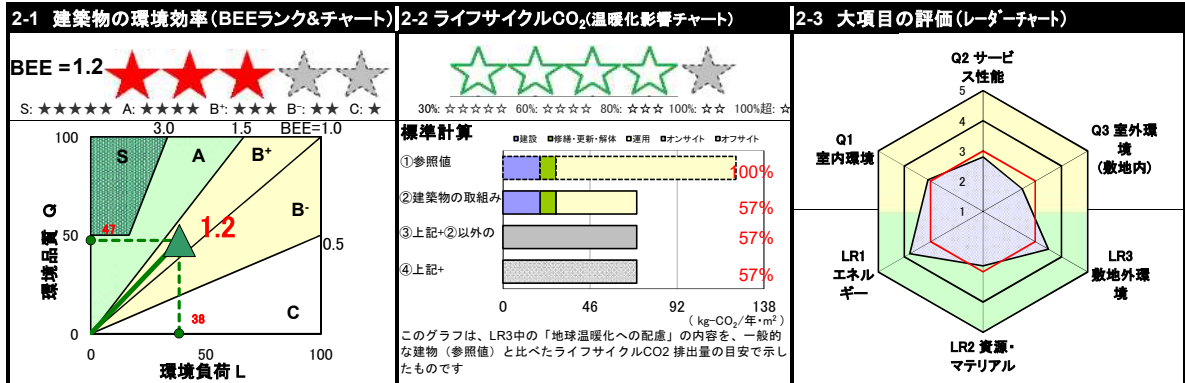


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ダイアパレス知立駅前	階数	地下0階地上15階
建設地	愛知県知立市堀切一丁目20、20-1、21、24-2	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	168人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2021年9月 予定	評価の実施日	2020年1月20日
敷地面積	807㎡	作成者	石田
建築面積	347㎡	確認日	2020年2月4日
延床面積	3,524㎡	確認者	石田



3 重点項目					
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">4.7</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <table border="1"> <tr><td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td><td>99.8%</td></tr> <tr><td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td><td>0.0%</td></tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	99.8%	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0%
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	99.8%				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0%				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.6</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料> なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用
なし

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		独自基準		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質												
Q1 室内環境												
1 音環境												
1.1 室内騒音レベル												
		0.4	2.0	0.15	3.3	3.3	1.00					2.8
1.2 遮音												
		3.0	3.0	0.50		3.0	0.50					3.1
		0.5	1.0	0.50		3.6	0.50					
		-	1.0	1.00		5.0	0.30					
		-	3.0	-		3.0	0.30					
		-	3.0	-		3.0	0.20					
		-	3.0	-		3.0	0.20					
1.3 吸音												
		-	3.0	-		3.3	-					
2 温熱環境												
2.1 室温制御												
		0.3	1.8	0.35	3.2	3.2	1.00					3.0
		0.7	2.2	0.71	3.3	3.3	0.71					
		3.0	3.0	0.63		3.0	0.63					
		3.0	1.0	0.38		4.0	0.38					
		3.0	3.0	-		-	-					
2.2 湿度制御												
		3.0	1.0	0.29		3.0	0.29					
2.3 空調方式												
		3.0	-	-		-	-					
3 光・視環境												
3.1 昼光利用												
		0.2	2.4	0.25	3.0	3.0	1.00					2.9
		0.3	3.0	0.30		3.0	0.30					
		3.0	3.0	0.60		3.0	0.50					
		-	-	-		3.0	0.30					
		3.0	3.0	0.40		3.0	0.20					
3.2 グレア対策												
		0.3	1.0	0.30	3.0	3.0	0.30					
		5.0	1.0	1.00		3.0	1.00					
3.3 照度												
		3.0	3.0	0.15		3.0	0.15					
3.4 照明制御												
		3.0	3.0	0.25		3.0	0.25					
4 空気質環境												
4.1 発生源対策												
		0.2	3.6	0.25	3.6	3.6	1.00					3.6
		0.6	4.0	0.60		4.0	0.63					
4.2 換気												
		3.0	4.0	1.00		4.0	1.00					
		0.4	3.0	0.40		3.0	0.38					
		3.0	3.0	0.50		3.0	0.33					
		3.0	3.0	-		3.0	0.33					
		3.0	3.0	0.50		3.0	0.33					
4.3 運用管理												
		-	-	-		-	-					
		3.0	3.0	-		-	-					
		3.0	3.0	-		-	-					
Q2 サービス性能												
1 機能性												
1.1 機能性・使いやすさ												
		0.4	1.6	0.40	2.8	2.8	1.00					2.6
		0.4	1.0	0.40		3.0	0.60					
		3.0	3.0	-		-	-					
		3.0	3.0	-		3.0	1.00					
		3.0	1.0	1.00		-	-					
1.2 心理性・快適性												
		0.3	1.0	0.30	2.5	2.5	0.40					
		3.0	3.0	-		4.0	0.50					
		3.0	3.0	-		-	-					
		3.0	1.0	1.00		1.0	0.50					
1.3 維持管理												
		0.3	3.0	0.30		-	-					
		3.0	3.0	0.50		-	-					
		-	3.0	0.50		-	-					
2 耐用性・信頼性												
2.1 耐震・免震・制震・制振												
		0.3	2.8	0.31		-	-					2.8
		0.4	3.0	0.48		-	-					
		3.0	3.0	0.80		-	-					
		3.0	3.0	0.20		-	-					
2.2 部品・部材の耐用年数												
		0.3	3.0	0.33		-	-					
		-	3.0	0.23		-	-					
		-	3.0	0.23		-	-					
		-	3.0	0.09		-	-					
		-	3.0	0.08		-	-					
		-	3.0	0.15		-	-					
		-	3.0	0.23		-	-					
2.4 信頼性												
		0.1	2.4	0.19		-	-					
		3.0	3.0	0.20		-	-					
		3.0	3.0	0.20		-	-					
		3.0	1.0	0.20		-	-					
		3.0	3.0	0.20		-	-					
		3.0	2.0	0.20		-	-					

3 対応性・更新性			0.2	3.0	0.29	3.3	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			-	-	-	3.6	3.6	0.50	
1 階高のゆとり		階高 2.9m以上確保	-	3.0	-		4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	3.0	-		3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	-		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		②	1.0	3.0	1.00			-	
1 空調配管の更新性			-	3.0	0.17			-	
2 給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17			-	
3 電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11			-	
4 通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11			-	
5 設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22			-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22			-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.30		-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出		独自③		2.0	0.30		-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	2.5	0.30		-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.4
LR1 エネルギー					0.40		-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		住宅性能評価基準 断熱等級4取得予定	3.0	4.0	0.33		-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	3.0	0.17		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] 0.87	3.0	4.6	0.33		-	-	4.6
4 効率的運用			0.1	3.0	0.17		-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-		-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	3.0	-		-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	3.0	-		-	-	-
集合住宅の評価			1.0	3.0	1.00		-	-	-
4.1 モニタリング			-	3.0	0.50		-	-	-
4.2 運用管理体制			-	3.0	0.50		-	-	-
LR2 資源・マテリアル					0.30		-	-	2.8
1 水資源保護			0.1	3.4	0.15		-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器の採用	3.0	4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			0.6	3.0	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	1.00		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	-		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	2.5	0.63		-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減			-	2.0	0.07		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.24		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		② 独自	-	3.0	0.20		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	3.0	1.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	3.0	0.05		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	3.0	3.0	0.24		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.3	0.22		-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		指定化学物質を含まない材料を使用	3.0	4.0	0.32		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	3.0	0.68		-	-	
1 消火剤			-	-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			-	3.0	1.00		-	-	
3 冷媒			3.0	-	-		-	-	
LR3 敷地外環境					0.30		-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		① ライフサイクルCO2 排出率57%		4.7	0.33		-	-	4.7
2 地域環境への配慮			0.3	2.9	0.33		-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			-	3.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			-	3.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	2.7	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減		独自	-	3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制		独自	-	3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制		独自	-	3.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			-	2.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			0.3	3.0	0.33		-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40		-	-	
1 騒音		独自	-	3.0	1.00		-	-	
2 振動		独自	-	-	-		-	-	
3 悪臭			-	-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			0.4	3.0	0.40		-	-	
1 風害の抑制			-	3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制			-	3.0	-		-	-	
3 日照障害の抑制			-	3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			0.2	3.0	0.20		-	-	
1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策			-	3.0	0.70		-	-	
2 屋光の建物外壁(による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30		-	-	

重点項目スコアシート
 (仮称)ダイヤパレス知立駅前

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.7
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.7	0.10	
② 資源の有効活用				2.6
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.5	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:99.8%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)ダイヤパレス知立駅前

計画上の配慮事項	
総合	自然環境に配慮し、周辺地域と調和する空間を提供できるように建物の快適性や安全性などの品質や性能を高める計画とした。
Q1 室内環境	全面的にF☆☆☆☆建材を採用し、シックハウス対策に配慮した。
Q2 サービス性能	住宅性能評価の劣化対策等級3(取得予定)など、耐久性に優れた建物とした。
Q3 室外環境(敷地内)	道路沿いには可能な限り緑地を設け、周辺地域の良好な住環境の形成に配慮した。
LR1 エネルギー	住宅性能評価基準 断熱等級4を取得予定。
LR2 資源・マテリアル	ODP=0.01未満の発泡剤を用いた断熱材を使用し、地球温暖化抑制に配慮した。
LR3 敷地外環境	建物周囲に、圧迫感を与えないよう配慮した。 また、ゴミ置場やゴミストックルームを設置し廃棄物負荷抑制に配慮した。
その他	特になし。